

6月8 - 12 日週のポンド円レビュー

June 15, 2009

ポンド円は週を通して堅調、162 円乗せ

High : 162.60 円 Low : 155.55 円

Close : 161.82 円

ポンド円は上昇。米長期金利上昇がドル買いの動きに繋がり、ポンドドルが下落した局面ではポンド円も下げ幅を広げた。しかし、ブラックロックの買収がらみの報道がポンド買いを誘うなど、週を通しては堅調に推移し、一時 162.60 円まで上昇した。

6/8 (月) 158.09 円

先週末に発表された米雇用統計が市場予想を上回ったことを背景に対主要通貨でドル買いが優勢に。ポンドドルの下落につれて、ポンド円も 155 円半ばまで下げ幅を広げた。しかし売りが一巡すると 158 円半ばまで買戻された。

6/9 (火) 158.78 円

週末からのドル高の巻き戻しの動きから、ドル全面安となりポンドドルが上昇。ポンド円も 159 円前半まで買われた。米ブラックロックが英バークレイズの資産運用部門 BGI の買収に絡み、総額の 50% をキャッシュで払うことになるとの報道も、ポンド買いを誘ったようだ。

6/10 (水) 160.50 円

米長期金利上昇が悪い金利上昇と意識されドル買いに繋がり、それまで堅調に推移していたポンドドルが反落。ポンド円も 161 円半ばまで上昇後は上値が重かった。

6/11 (木) 161.99 円

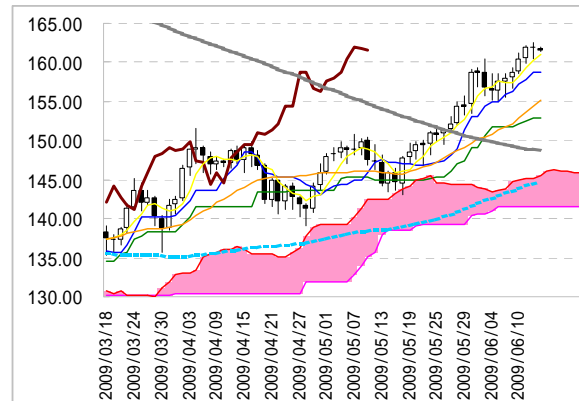
ドル売り・円売り優勢。米 30 年債入札の好調を背景に米 10 年債利回りが急低下したことから、ドル売りが殺到。これを受けてポンドドルが上昇幅を拡大させたことから、ポンド円も 162 円前半まで上昇した。

6/12 (金) 161.82 円

ポンド円は上昇。主要国の株価が高値圏を維持するなかで買いが進み、一時 162.60 円まで上昇した。しかし、ドル全面高の展開となりポンドドルが下落すると、ポンド円も 160.49 円まで反落した。ただ、売りが一巡すると 162 円前半まで戻りを試した。

月日	High	Low
6/8 (月)	158.51 円	155.55 円
6/9 (火)	159.23 円	156.64 円
6/10 (水)	161.31 円	158.49 円
6/11 (木)	162.09 円	159.95 円
6/12 (金)	162.60 円	160.49 円

ポンド円の推移



テクニカル短期・中期ポイント

167.35 (08年7月23日高値 215.88 円と1月23日安値 118.85 円の下落幅の半値戻し)

165.06 (08年10月30日高値)

=== 先週末の NY クローズ 161.82 円 ===

158.75 (日足一目均衡表・転換線)

152.83 (日足一目均衡表・基準線)

英国の重要指標結果

6/9 (火) 【結果】 (前回)

5月 RICS 住宅価格 [-44.1%] (-58.7%)

6/10 (水) 【結果】 (前回)

4月貿易収支 [70.03 億ポンドの赤字] (64.71 億ポンドの赤字)

4月鉱工業生産 [+0.3%] (-0.3%)

4月製造業生産 [+0.2%] (+0.2%)

アウトルック ダイジェスト版

レンジ : 158.50 - 167.35 円

ポンド円の今後の見通しについて、市場からは「テクニカル的には日足一目均衡表の転換線に沿って上昇してきた相場が継続している」といい、上値のメドとしては「昨年7月高値 215.88 円と今年1月23日安値 118.85 円の半値戻しとなる 167.35 円が目標となる」という。下方向については「転換線が推移する 158 円後半がメド」との見解を示した。